

「第3次対がん10か年総合戦略」
に基づく研究開発

平成15年9月18日

文部科学省

研究振興局

文部科学省における平成16年度概算要求における

第3次対がん10か年総合戦略に基づく研究開発

革新的ながん治療法の開発に向けた研究の推進

～がんトランスレーショナル・リサーチの推進～
優れた成果が現れているがん免疫療法、分子標的治療法に係る基礎研究の成果について、次世代のがん治療法の開発につなげるための橋渡し研究の推進)

(25億円 新規)

独立行政法人放射線医学総合研究所 重粒子線がん治療試験研究の推進

(肺がん、肝がん等の臨床試験及び治療成績の客観的評価 等) (64.7億円)

小型加速器開発のための技術要素開発の推進

(平成18年度には小型加速器を製作できるようにするためのR&D)

(10.4億円 新規)

(運営費交付金中の推計額を含む)

がんの予防・診断・治療等への応用

第3次対がん10か年総合戦略の対応について

(参考)

これまでの研究成果

第1次、第2次がん戦略
(昭和59年度～平成15年度)

遺伝子の変化でがんが生
じることが明らかに

一部のがんのなり易さの
遺伝子診断が可能に

発がんに関係するウイル
スが明らかに

重粒子線治療装置による
臨床試験の開始

がんの移転のメカニズム
の解明が進展

等

第3次対がん戦略等の指摘

大腸がん等の欧米型のが
んの増加や膵がん等の治
癒率の向上が困難な「難治
がん」の存在

学横断的な発想によるが
んの本態解明の飛躍的推
進

基礎研究の成果を積極的
に治療等に応用するラン
スレーショナル・リサーチの
推進

粒子線治療装置の小型化

等

文部科学省の主な対応

《トランスレーショナル・リ
サーチの推進》

⇒ 革新的ながん治療法の開
発に向けた研究の推進
(25億円 新規)

《重粒子線がん治療試験研
究の推進》

⇒ 放射線医学総合研究所
における重粒子線治療装
置の小型化・効率化のため
の研究開発 等

(運営費交付金の内数(新規分含
む))

《がんの本態解明》

⇒ 科学研究費補助金による
独創性・多様性に富んだ
研究の推進

(54億円)